

兒童自己評價·保護者評價·職員評價集計

## <集計結果から>

※ 児童は、保護者や職員が考えているよりも、「できている」「頑張っている」と捉えています。その、「できている」「頑張っている」と捉えている場面に気付き、タイミングリーに認め、具体的に褒め、力強く励まし、期待をかけていけば、更に「できるように」「頑張れるように」なります。

### 【関わり合う力】について

- 学校生活全般を見ていて、自己中心的な言動やルールを守れない場面、学習規律の未定着等、道徳教育の必要性を強く感じます。考え・議論する道徳科の授業を通して、道徳的実践力(道徳性)を育むとともに、特別活動や総合的な学習の時間における諸活動、日常の生徒指導等を通して道徳的実践(道徳的行為と道徳的習慣)につないでいきましょう。学習規律や学校生活のルール等については、担当者を中心に再度確認が必要でしょう。
- 挨拶については、より一層「元気に『おはようございます！』」「笑顔で『さようなら！』」となるよう取り組む必要があります。実態に応じて、各学級で練習をさせてください。

### 【やり抜く力】について

- 夏場の猛暑化・酷暑化に伴い、外遊びをさせにくくなりました。今後、気候も落ち着くと思われるため、どんどん外遊びを勧めましょう。また、体育科指導の際の運動量確保・質の向上等により、体を動かすことの心地良さを実感させていきましょう。人吉市学校教育アドバイザーの活用も考えられます。
- 食に関する指導は、特別活動や5、6年家庭科、日常的な給食の場面等を通じて行っています。現在の取組一つ一つを、計画に沿って丁寧に進めていきましょう。
- 保健指導の充実については、先生方と保護者への問い合わせのニュアンスが異なることから、このような結果となっています。保護者の方は、家庭でのゲーム機等の使い方や歯みがきの状況等から評価をされているものと思われます。全ての学年で、厳しい評価でした。家庭への呼びかけとともに、学校では児童自身が健康を管理し改善していくように、力を付けていきましょう。

### 【自ら学ぶ力】について

- 熊本の学び等の推進について、私たちは児童を学びの主体とする授業力の向上に努めなければなりません。その上で、全国・県・市学力調査等の結果から見られる課題を踏まえた授業改善、共通実践事項の励行を徹底していきましょう。
- 共通実践事項については、改訂版「大畠小共通実践事項」で常に確認をしながら取り組みましょう。学習規律については、【関わり合う力】の記載のとおりです。
- 基礎的・基本的事項の確実な定着については、いろいろな取組方があると思います。ただ、以前からお伝えしているように、汎用的読解力をベースとしたPISA型読解力の育成は欠かせません。各教科での音読の導入、教科書のフル活用、正しく読み内容を把握する指導等、丁寧に取り組みましょう。
- 家庭学習の習慣化については、発達段階や学習経験に応じて、自主学習を導入していただいている。授業とのつながりを考えた家庭学習のためには、視点を明確にした振り返り活動の充実は欠かせません。振り返り活動で、何がわかり何が不十分なのか、何をもっと知りたいのか等、児童に自身の学びの状況を自覚させてやってください。

### 【風土づくり】について

- 保護者や地域との信頼関係づくり、安全に配慮した環境づくりのいずれについても、とても高い評価を頂きました。今後も、保護者や地域の方への丁寧な対応、児童が安心して安全に過ごせる環境づくりに努めましょう。ただ、2%（1件）が、信頼関係づくりについて2評価でした。1件ではありますが、大事に捉えたいものです。
- 働き方改革については、現場でできることは限られていますが、知恵を出し合い一緒に進めていきましょう。先生方の元気と活力が、児童の学びを支えます。

## 令和7年度 学校評価(前期)三者評価結果

評価 資質 能力	評価内容		職員	保護者	児童
	職員	児童・保護者			
関わり合う力	1 命を尊び、自分も周りの人も大切にする人権教育の推進	自分のことと友達のことも大切にしている。	3.0	3.5	3.7
	2 心に響き、児童の生活とつながる道徳教育の推進	—	2.9		
	3 安心して過ごせる学級づくり仲間づくり	—	3.0		
	4 あいさつをはじめとした基本的生活習慣の育成	進んであいさつをしたり、規則正しい生活をしたりしている。	2.9	3.1	3.3
	5 大畠学級割り班における交流活動の充実	大畠小の仲間やお世話になる地域の方と、楽しく活動している。	3.3	3.3	3.6
やり抜く力	6 体力を向上させる取組の充実	体育の学習や外遊びに進んで取り組んでいる。	2.9	3.1	3.2
	7 安全教育の充実(危険予測回避能力、災害時や交通ルールに関する知識、避難)	登下校や日頃の生活で交通安全に気を付けて行動している。	3.3	3.3	3.6
	8 食に関する指導の充実(健全な食生活に関する理解と思考判断、マナーと感謝の	感謝の気持ちを持ち、バランスの良い食事をしている。	2.8	2.9	3.4
	9 保健指導の充実(健康な生活についての理解、自分の健康を管理し改善する力)	目に優しい生活(タブレット端末やゲーム機の使い方)やていねいな歯磨きを、毎日している。	2.9	2.5	3.1
	10 成功体験や達成感を得られる機会の創出(目標設定計画実行振り返り)	当番の仕事や自分で決めたことを、最後までがんばっている。	2.9	3.1	3.4
自ら学ぶ力	11 「熊本の学び」及び「人吉型授業」の推進	授業に自分で考え自分から取り組んでいる。	2.6	2.9	3.2
	12 共通実践事項を土台とした学習規律の徹底	—	2.5		
	13 基礎的基本的事項の確実な定着	音読や読書、漢字、計算の学習をがんばっている。	2.9	3.0	3.4
	14 授業のUD化と個別最適な学びの充実	—	2.6		
	15 主体的な家庭学習の習慣化	授業で学んだことや、苦手なことを意識した家庭学習をがんばっている。	2.6	2.7	3.2
風土づくり	16 保護者や地域との信頼關係づくり	教職員は、保護者や地域の方に丁寧に対応している。	3.1	3.4	
	17 安全に配慮した環境づくり	学校は、清掃整理され安全を保っている。	3.2	3.3	
	18 働き方改革の視点に立った勤務時間の自己管理や業務の効率化、意識改革	—	2.9		